

大会プログラム一覧

11月23日（土）

大会準備委員会企画シンポジウム

11月23日(土) 9:00～10:30 【A会場(413)】

「ストレスと健康を科学する —基礎研究と臨床実践の発展を考える—」

企画者：日本健康心理学会第37回大会 大会準備委員会

司会者：矢島 潤平(別府大学)

話題提供者：前田 駿太(東北大学)

話題提供者：岡村 尚昌(久留米大学)

話題提供者：上地 広昭(山口大学)

会員企画シンポジウム1

11月23日(土) 9:00～10:30 【B会場(414)】

「身体心理療法の理論と実践 ——日本における最先端の臨床と研究を通して——」

企画者：宮田 裕光(早稲田大学文学学術院)

司会者：宮田 裕光(早稲田大学文学学術院)

話題提供者：鈴木 孝信(早稲田大学文化構想学部・杏林大学)

話題提供者：西田 正憲(せとぐち心療内科クリニック・芳龍福祉会)

指定討論者：山崎 果歩(早稲田大学大学院文学研究科)

基調講演

11月23日(土) 10:40～11:40 【A会場(413)】

「支援者のメンタルヘルスを考える：支援者の1人として、仲間の1人として」

座長：津田 彰(帝京科学大学)

演者：土山幸之助(大分県こころとからだの相談支援センター)

委員会企画シンポジウム 機関誌編集委員会+研究推進委員会

11月23日(土) 13:30～15:00 【A会場(413)】

「研究構想から論文執筆・審査過程における留意点 —日本健康心理学会における研究活動の活性化と論文投稿の推進を目指して—」

企画者：日本健康心理学会 機関誌編集委員会・研究推進委員会

司会者：大竹 恵子(関西学院大学)

話題提供者：井澤 修平(労働安全衛生総合研究所)

話題提供者：小池 城司(九州大学)

指定討論者：前田 駿太(東北大学)

指定討論者：石山 裕菜(京都橘大学)

第137回健康心理学研修会

11月23日(土) 13:30～15:00 【B会場(414)】

「職場のポジティブメンタルヘルス」

企 画：研修委員会
講 師：大塚 泰正(筑波大学人間系心理学域)

会員企画シンポジウム2

11月23日(土) 15:10～16:40 【A会場(413)】

「子どもの強みを育むために ——基礎研究と教育実践の橋渡し——」

企 画 者：小國 龍治(立命館大学)
司 会 者：小國 龍治(立命館大学)
話題提供者：小國 龍治(立命館大学)
話題提供者：阿部 望(京都女子大学)
話題提供者：伊住 継行(岡山大学)
指定討論者：大竹 恵子(関西学院大学)

会員企画シンポジウム3

11月23日(土) 15:10～16:40 【B会場(414)】

「健康心理学における基礎研究と実践 ——若手研究者が考える健康心理学の発展—— 第10回ヤングヘルスサイコロジストの会シンポジウム」

企 画 者：ヤングヘルスサイコロジストの会
司 会 者：小林 茉那(神奈川大学大学院)
話題提供者：新牧 恭太(久留米大学大学院)
話題提供者：加藤 憲(大阪体育大学大学院)
話題提供者：山本 幸穂(筑波大学大学院)
話題提供者：宮川 紫苑(東北大学大学院)
指定討論者：根岸 唯音(北里大学大学院)

一般研究発表プログラム

ポスターセッション

11月23日(土) 責任発表時間 16:00～16:40 【展示会場(111・112・113)】

- P1-1 大学生の SNS 使用と精神的健康の因果関係：3 波のパネル調査による検討
○叶 少瑜
筑波大学図書館情報メディア系
- P1-3 日本の若者におけるドラクオレキシアに関する実態調査
○菊地 創
松蔭大学コミュニケーション文化学部
- P1-5 怒りやすさとその認知がもたらす生きづらさへの影響
○樋口 穂乃佳
立命館大学大学院 人間科学研究科
- P1-7 ベネフィセンスを含む基本的心理欲求と心身の健康との関係
○前田 直菜緒
関西学院大学 文学研究科 博士課程前期課程 総合心理学専攻
- P1-11 行動科学的視点に基づいた認知症高齢者をもつ家族介護者のコミュニケーションに関する研究の動向と今後の展望
○福留 尚典
早稲田大学大学院人間科学研究科
- P1-13 ピアサポートによる大学生のメンタルヘルス支援の試みⅠ—ストレス反応、不安、孤独感の変化の検討—
○坂下 英淑
大阪人間科学大学心理学部心理学科
- P1-15 脱フュージョン・エクササイズを取り入れた認知行動療法型ストレスマネジメントの効果の検討——報酬系機能の特徴を考慮したアプローチ——
○姜 来娜
関西学院大学文学部
- P1-17 ロードサービス隊員の注意特性とマインドフルネス瞑想の介入効果の検証
○水崎 佑毅
周南公立大学人間健康科学部スポーツ健康科学科
- P1-19 青年期における家族の心理的居場所感と過剰適応の関連
○三奈木 莉々香
別府大学大学院文学研究科臨床心理学専攻
- P1-21 身近な男性による女性の子宮頸がん検診受診に対する勧奨行動—行動計画策定介入のための予備的検討—
○春田 悠佳
上智大学大学院総合人間科学研究科心理学専攻
- P1-23 乳がんサバイバーの出来事を中心性と心理的適応 PTG の調整効果
○駿地 真由美
追手門学院大学心理学部

- P1-25 Proactive coping に基づく身体活動促進コーチングプログラムの開発
○永峰 大輝
東京女子医科大学 医学部 衛生学公衆衛生学講座
- P1-27 大学生の疲労感、幸福感とその関連要因
交友関係、睡眠、セルフコントロールに着目して
○鈴木 健之
静岡大学人文社会科学研究科
- P1-29 高サイコパシー傾向者の攻撃性における知覚されたソーシャルサポート及び共感性の機能
○西中 宏吏
早稲田大学人間科学学術院
- P1-31 公認心理師に対する他職種の知識および期待に関する調査
○岡部 すずか
北里大学大学院医療系研究科
- P1-33 高齢者調査 4 期からみた脱落の特性
○山内 加奈子
福山市立大学 教育学部
- P1-35 療育におけるカムダウンエリアの活用の効果に関する検討
○土屋 さとみ
アース・キッズ株式会社
- P1-37 若者の子宮頸がん検診受診を促す情報提供のあり方
○福田 みのり
山陽小野田市立山口東京理科大学 共通教育センター
- P1-39 大学生の生活課題が自己効力感の向上に寄与する
○田村 理絵
別府大学大学院文学研究科臨床心理学専攻
- P1-43 オンライン診療での医療者の発話が相手の印象に与える影響：実験デザインにおけるテキスト解析の活用
○富澤 政也
北里大学大学院医療系研究科臨床心理学コース
- P1-45 女子大学生における瘦身プレッシャーとストレスコーピングが食行動異常傾向に及ぼす影響
—縦断的検討—
○干場 彩花
久留米大学大学院 心理学研究科 臨床心理学専攻
- P1-47 大学生の睡眠の実態と睡眠安全確保行動の関連
○杉山 由香里
富山県立大学看護学部
- P1-49 悪夢の苦痛度形成に関与する要因の検討
○施 竣
東洋大学大学院社会学研究科社会心理学専攻
- P1-51 レジリエンス・セルフワーク web プログラムの効果検証
○柳田 温子
お茶の水女子大学
- P1-53 精神障害者における就労の意義
○鈴木 文子
聖隷クリストファー大学社会福祉学部

- P1-55 コロナ禍における医学部生のメンタルヘルスと対応
○西垣 悦代
関西医科大学医学部 心理学教室

ポスターセッション

11月23日(土) 責任発表時間 16:50～17:30 【展示会場(111・112・113)】

- P1-2 女子大学生における SNS 活動と心のゆとり及び自己安定感との関連
○長谷 美里
東京家政大学 人間生活学総合研究科 臨床心理学専攻 修士課程
- P1-4 アルコール依存症における再飲酒の研究(2)
ー飲酒に対する思考の質問紙調査のための仮説検討ー
○高橋 信雄
東洋大学大学院社会学研究科社会心理学専攻博士後期課程
- P1-6 心理的柔軟性とスマホ依存の関連性の検討
○堀内 翼
早稲田大学大学院人間科学研究科
- P1-8 コロナ禍の経験からの有益性発見と Well-Being の関連
○平田 薫
関西学院大学高等教育推進センター
- P1-10 温泉入浴後の強炭酸水飲用が身体や気持ちに及ぼす影響調査
○橋本 秀紀
アサヒ飲料株式会社
- P1-12 介護施設における協働文化の構築に向けた取り組み
～日本人就労者による外国人ケア労働者との協働の方略～
○畠中 香織
梅花女子大学 看護保健学部
- P1-14 ピアサポートによる大学生のメンタルヘルス支援の試みⅡ
ー参加者の語りを中心にー
○中村 千珠
大阪人間科学大学心理学部
- P1-16 心身の“ゆらぎ”受容へ向けた自宅でのボディケアによる心理・生理的影響
○中野 詩織
花王株式会社 感覚科学研究所
- P1-18 青年期の過剰適応傾向における情動コンピテンスの検討
○高野 唯
桜美林大学大学院 国際学術研究科 国際学術専攻
- P1-20 地方都市の若者の子宮頸がん検診への関心・受診経路の分析
○中村 洋
山陽小野田市立山口東京理科大学 共通教育センター
- P1-22 病棟で働く看護師の労働価値観とメンタルヘルスとの関連
○矢田部 哲也
東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科

- P1-24 炎症性腸疾患患者が日常で知覚する困り事とその対処法に関する探索的検討（中間報告）
○羽鳥 健司
埼玉学園大学人間学部心理学科
- P1-26 従事する種目の差異による特徴に応じた問題性の高いギャンブル行動の機能的理解の試み
○松本 優
早稲田大学大学院 人間科学研究科
- P1-28 成人における健康促進行動の関連要因の探索的検討
○嘉陽 彩乃
お茶の水女子大学
- P1-30 教員から見た校則見直しに関する質的研究
○白土 菜穂
神奈川大学大学院人間科学研究科人間科学専攻
- P1-32 高齢者のパーソナリティ（自尊心変動性）と顔刺激の注視傾向
○田端 拓哉
大阪公立大学健康科学イノベーションセンター
- P1-34 療育における微細運動に着目した支援が快感情に及ぼす効果
○小関 俊祐
桜美林大学リベラルアーツ学群
- P1-36 サイコロジカル・ファーストエイド（PFA）モデルの比較
—日本の文化に応じた適用における課題—
○田中 美帆
桜美林大学大学院 国際学術研究科 心理学実践研究学位プログラム
- P1-38 意図的な表情の表出が感情と自己効力感に及ぼす影響
—社会的望ましさに着目して—
○豊原 玲
桜美林大学大学院国際学術研究科心理学実践研究学位プログラム
- P1-40 自己臭関係付け症症状を有する者の専門機関利用に関する調査
○佐野 なな子
東北大学大学院教育学研究科
- P1-42 セルフヘルプ形式の慈悲の瞑想がストレス反応に及ぼす効果
○前田 駿太
東北大学大学院教育学研究科
- P1-44 精神科看護師のワークモチベーションに関する探索的研究
○オルランド ヤコボ
神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 人間発達専攻
- P1-46 月経前の精神的変調が主観的幸福感に及ぼす影響
—アクセプタンス、コミットメント、回避の持続の調整効果に着目して—
○伊藤 亜美
明治大学大学院文学研究科
- P1-48 夢の行動化を伴うレム睡眠行動障害と睡眠の不調
○松田 英子
東洋大学社会学部社会心理学科

- P1-50 挫折経験の活用方略
セルフ・コンパッションと適応的諦観
○本多 麻子
東京成徳大学応用心理学部健康・スポーツ心理学科
- P1-52 MMPI-3 を通して見た幼児教育・保育を志す大学生の心理傾向
○渡邊 亮士
金城大学人間社会科学部・大阪大学大学院連合小児発達学研究科
- P1-56 中学生における脱フュージョンの手続きを加えたストレスマネジメント教育の効果の検討
○石川 律
早稲田大学大学院人間科学研究科
- P1-57 自閉スペクトラム症の外在化行動に対する介入方法の展望
○黒田 翔子
早稲田大学大学院 嶋田洋徳研究室
- P1-58 児童福祉施設におけるトラウマインフォームドケアの概念に基づく取り組みと今後の展望
○辻田 真凜
早稲田大学大学院人間科学研究科行動臨床心理学研究室
- P1-59 < 2024 年度アーリーキャリアヘルスサイコロジスト賞受賞者 >
Factors Facilitating the Participation Mindfulness-based Self-Help Training for Shidu Parents
(中国の一人っ子を失った親における自助的マインドフルネス・トレーニングへの参加の促進要因に関する研究)
○王 小鳳
お茶の水女子大学
大森 美香
お茶の水女子大学・東北大学